

新地町に住む次の世代への贈り物企画



新地町活性化プロジェクト

(桜植樹10年計画)

～10年後の新地町に会いに行こう～

～平成29年(6年目)～



アイラブしんちサークル



はじめに

私たちアイラブしんちサークルは、未来の新地町をみんなと一緒につくろう！と、平成22年5月同じ考えを持つ仲間が集まり、同年11月に正式に設立したサークルです。

2011年3月11日の東日本大震災を経て、メンバー間の結束が固まり、より新地町を想う気持ちが強くなりました。これまでも「やるしかねえべ祭」、「産業まつり」、「鹿狼山元旦登山」などのイベントに協力させて頂き、活動を行ってきました。

さて、平成24年から実施した新地町総合公園への桜植樹も今年で6年目となりました。このプロジェクトは、10年間かけて新地町の中心となる新地町総合公園とその周辺を新地町の花「桜」でいっぱいにし、富岡町の「夜ノ森さくらまつり」以上の桜まつりを新地町で開催したいという思いを胸に企画したものです。また、その桜を新地の次世代の子どもたちに大切に引き継いで新地町を想う気持ちを育てようというものです。

前年同様、東京三鷹ロータリークラブさんのご支援を頂き、今年は桜の苗木を10本植樹することが出来る事になりました。

これまでの5年間の活動で、新地町総合公園へ合計98本と小川原添地区集合住宅へ14本、合計112本のソメイヨシノを植樹してきました。

10年計画の昨年度からは、新地町総合公園への桜植樹と併行して、現在整備が進んでいる釣師・埴浜地区の防災緑地や新地駅前、復興集合住宅地などの植栽にも町と協力しながら活動していきたいと思っています。

しかし、私たちだけではこの企画は実行できません。関係機関の皆様のご理解と多大なご協力が必要であれば成り立ちません。どうぞ未来の新地町の為に、そして未来をつくる子どもたちの為に宜しくご検討頂けますようお願い申し上げます。

平成29年 2月 吉日

アイラブしんちサークル 代表 水戸 真吾



コンセプト

復興・発展する町を未来の子どもたちへ。

企画内容

新地町のほぼ中心に位置する新地町総合公園に桜の木を植樹することで花見の観光名所を作る。また、新地町内各所に桜の木を植樹することにより、10年後には新地町を日本で有数の桜の名所として名を残し、桜祭りというイベントを開催する。

- ① 桜の苗を植樹する。(10年間) ※今回で6年目。
- ② 新地町総合運動公園で桜祭りを開催する。

企画ポイント

- ・ 近隣市町村に見られない程立派な新地町総合運動公園の知名度並びに利用率アップ
- ・ 新地町の町花が「桜」なのに花見ができるスポットが確立されていない現状を打開
- ・ 将来へ向けて観光産業発展
- ・ 桜祭りなどを通して、地域商工業者等の活性化



企画効果予測

- ・ 若者からお年寄りまで日本人の心を掴む「桜」を新地で見てもらい

春＝桜(花見)

夏＝遊海しんち(海水浴)

秋＝鹿狼山(紅葉)

冬＝初日の出(鹿狼山元朝登山)

と、一年中見どころ、遊びどころのある新地町をPR

- ・ 遊海しんちと並ぶ2大イベントとして成長させることで得られる経済効果
- ・ 新しい試みである長期間(10年間)という新地町の可能性
- ・ 町の若者が主体となって行動することによっての話題性
- ・ 若者に愛される新地町のブランディング



植樹式内容(案)

植樹場所 新地町総合公園

植樹桜について 品種(ソメイヨシノ) 本数10本

植樹開催日 平成29年3月12日(日) 午前10:45 ~

式典参列予定者
新地町長
議会議長
アイラブしんちサークル顧問
東京三鷹ロータリークラブ
新地町商工会青年部
NPO法人みらいと
ラブしんメンバー

広報 新聞社、フェイスブック